



人生の先輩方の「道具箱・知恵袋」から学んで

校長 三輪 太雄



1・2年生、生活科学習・「まんさく」訪問。「まんさく」を利用される、おばあちゃん方（※失礼かもしれませんが、そう呼ばさせていただきます）が、温かく迎えてくださいました。百人一首を読み上げたり、折り紙をしたり、肩たたきをしたり、剣玉をしたり…、とても有意義な時間を過ごさせてもらいました。また、子供たちが自己紹介で、名前と屋号を言うと、「わかった、〇〇さんとこやな」「〇〇君、学校だよりに賞とって名前載ったな。よく頑張ったね」等、子供たちや学校のことをよく知っていてくださることに、大きな喜びを感じました。

“100歳の詩人”として、世の中の多くの方に生きる希望や目標を与え、多くの方に愛された「柴田トヨさん」が101歳の生涯を閉じられて、ほぼ2年。トヨさんは、ミリオンセラーの詩集『くじけないで』の中で、ご自身の生き方の軌跡をこのように書き綴ってみえます。

90歳を過ぎて出会った詩作、詩を作るということで、気付いたことがあります。どんなに辛いこと、悲しいことがあっても私は両親や夫、倅、嫁、親戚、知人、そして多くの縁ある方々の愛情に支えられて、今の自分があるんだということです。

私が詩を書くきっかけは、倅の薦めでした。腰を痛め、趣味の日本舞踊が踊れなくなり気落ちしていた私をなぐさめるためでした。90歳を過ぎていましたが、産経新聞の「朝の詩」に入選した時の感動が忘れられずに、今に至っています。

詩は、ベッドで横になっている時や、テレビを見ている時など、夜に生まれます。出てきたテーマに沿って鉛筆でメモ書きをしておき、毎週土曜、様子を見に来る息子に見せ、朗読しながら何度も書き直して完成させます。だから、一作品に一週間以上の制作時間がかかります。そうして、詩作でわかったことは、人生、辛くて悲しいことばかりではないということでした。この歳になって、毎朝起きるのは本当に辛いです。それでも私はベッドからヨイショと起き上がり、バターかジャムを塗ったパンと紅茶で朝食をとります。そしてその日、ヘルパーさんにやってもらう掃除や洗濯等のお手伝いや買い物リストづくり。さらには公共料金の支払い等を含めた家計や通院スケジュールなどを考えます。結構、頭を使い忙しいんです。だからどんなに一人ぼっちで、寂しくても、考えるようにしています。「人生、いつだってこれから。だれにも朝はかならずやってくる」って…。一人暮らし二十年。私しっかり生きてます。

自分が学んでこられた“生きるうえでの術や生活の知恵”を次の世代に伝えと共に、「人生、いつだってこれから」の心で、さまざまなことに挑戦し、豊かで素敵に年齢を積み重ねてみえる人生の先輩方が、この飯地にはたくさんみえます。今年度、そんな先輩方から、今回のまんさく訪問をはじめ、さつまいも植え・野菜づくり・飯地の方言の学習等において、子供たちも、教師も、たいへん多くのことを学ばせていただくことができました。本当にありがとうございました。

人生の先輩方の「道具箱や知恵袋」には、とても貴重で素敵な宝物がいっぱい詰まっています。今後も、中に入っている多くの宝物を子供たちや私たちに、教え伝えていただけたらと心より願っております。



○豆まき 2月3日（火）



1, 2年生が「節分豆まき」をすべての教室をまわって行いました。飯地小学校に福がいっぱいになるように、元気いっぱい「落花生」を、5, 6年生の鬼役に向かって投げていました。優しい鬼たちは、にこにこ迎えてくれました。

○情報モラル講演会 2月21日（土）



授業参観の後、「情報モラル講演会」（家庭教育学級）を実施。多治見警察署生活安全課から、3名の講師に来ていただき、前半は寸劇を交えながら全校児童が話を聞きました。後半は、保護者のみで「近年のスマートフォンやゲーム機と子どもに関わる事案」の話で、便利な情報機器によって子どもがどんなつながりを持ち、どのような事案に巻き込まれていっているのか、家庭としてルールを作る、子どもの周辺の人間関係を保護者が把握するなど、学ぶことがたくさんありました。

今年度の「飯地高原文化まつり」には、飯地太鼓、飯地音頭で、多くの小学生が演技披露しました。「ちょっと照れくさい」と感じた子もいたようですが、飯地の文化を伝えていくことに小学生としても貢献でき、演技後はみんな笑顔で充実感がもてたようです。

○6年生を送る会 2月27日（金）



なかよし班でそれぞれにゲームを準備して、楽しいひとときを過ごしました。箱の中に何が入っているか、手探りで確かめたり、輪ゴムピストルで的をねらったり、子どもらしい手作りの楽しみコーナー

一で得点を競い合いました。

全体会では、6年生がなかよし班の仲間にそれぞれメッセージを伝えたり、委員会・分団・班長の3つのカギを渡したり、大切な気持ちを下級生に引き継ぎました。

○飯地高原文化まつり 3月1日（日）



また、版画と粘土作品の展示には全員が出品して、地域の方々に見ていただきました。

今年度の「飯地高原文化まつり」には、飯地太鼓、飯地音頭で、多くの小学生が演技披露しました。「ちょっと照れくさい」と感じた子もいたようですが、飯地の文化を伝えていくことに小学生としても貢献でき、演技後はみんな笑顔で充実感がもてたようです。

3月予定	
※毎月曜日は15:30、他16:00下校です。	
2日（月）PTAあいさつ運動	
9日（月）連れ去り防止教室	
16日（月）PTAあいさつ運動	
25日（水）卒業式	
26日（木）修了式、離任式	
※25,26日は11:30下校の予定です。	

◇表彰のお知らせ（敬称略）（学年）

☆おめでとうございます。

○広重賞恵那市こども版画コンクール

<奨励賞>

<入選>

